

自治 温故創新
考える
思いやる
やりぬく

まごころ

学校便り 4月号
令和4年4月8日
西東京市立田無第三中学校

温故創新 そして 自治

校長 東山信彦



1 教育目標

国際化、情報化、科学技術の進展する中において平和的な国家及び社会の形成者として自主的精神に満ちた人間の育成をめざし、教育目標を定める。

重点目標 自治

- | | |
|-------------------------|------|
| ・よく考え進んで実行する人間になろう | 考える |
| ・思いやりのある心豊かな人間になろう | 思いやる |
| ・丈夫な体をつくり心身ともに健康な人間になろう | やりぬく |

2 60周年に向けて

温故創新（おんこそうしん）

3 目指す学校像

教職員・生徒・保護者・地域一体（チーム三中）となって、「温かく、活気溢れる三中」を創る。

- （1） 温かく活気に溢れる学校
- （2） 自ら学び、自らを高める生徒
- （3） 生徒に寄り添い、挑戦を支援する教職員

4月6日に始業式、7日に入学式が行われ、田無第三中の令和4年度が始まりました。本校は、今年度開校60周年を迎えます。人の歩みに例えるならば、還暦を迎えることとなります。還暦は、60種類ある干支を全て終えて（今年で言えば、壬寅《みずのえのとら》）に生まれ、そして再び壬寅にもどることとなります）、人生の一区切りとなる長寿を祝うとともに、新しく再スタートを切る年ともされます。

そこで、本校も、温故知新（おんこちしん・古きをたずねて、新しきを知る）を踏まえて、三中の60年の伝統の中から、今日の三中のありようを学びつつも、知識を新たにするだけでなく、新たな伝統・文化を創造してほしいとの思いから、温故知新の「知る」を「創る」に変更して、「温故創新」として、60周年のスローガンとすることにしました。

教育目標については、教育における不易流行のうち、変わらぬ「知・徳・体」の育成を目指しているところから、目指す人間像をその順で並べ、本校が重点目標としている「自治」（自分で自分を治める・自分たちで自分たちを治める）や、その「自治力」育成のための行動指標である「考える・思いやる・やりぬく」との関連づけも明らかにしてみました。

6日の始業式は、一足先に三中の伝統を受け継いだ、3年生・2年生が久しぶりに、開け放たれた体育館に整列して行われました。新しい年度を迎える緊張感と、期待感が調和した、粛々とした中に温かさも感じられる、素晴らしい式となりました。私も、春休みを経て体育館の舞台の上で、うなずく生徒と目を合わせながら話せることに、大きな喜びを感じましたし、担任発表の場面では、発表後、おのづから、ごく自然に拍手が沸きおこる様子には、思わず「いいですね。この拍手。君たちは予想を超えていくね」と言わずにはいられませんでした。

今年も「温かく・活気あふれる三中」を、「温故創新」で目指します。よろしくお願いいたします。